

進路だより

令和7年3月7日(金)
岩手県立花巻清風支援学校
進路部 第5号

「進路」とは ～日々の学習の積み重ね～

副校長 畠山 恵子



今年度の登校日も残すところあとわずかとなり、各学部最上級生は卒業して新たなステージに進む季節を迎えました。今年度を振り返ると、各学部や分教室では地域との交流活動や併設校の児童生徒との学習活動を通して通常の学習活動では味わえない貴重な体験をし、大きく成長したことと思います。進路活動で言えば、上級学部の見学や校内実習・現場実習を通して進学後の生活を想像し、将来「働く」ということを具体的にイメージできる経験を積むことができた児童生徒の皆さんもいたのではないのでしょうか。

「進路」というと、中学部3年生が高等部に進学することや、高等部3年生が卒業後の行き先を決定することに目が向きがちですが、これまでの長い学校生活の積み重ねそのものなのだと改めて感じます。最初はできないことや苦手なことが多くあったとしても、日々の学習活動を通じて少しずつできるようになっていき、次の学年や学部に進んだ先で更に高いレベルの学習活動に取り組んでいきます。その成長を繰り返し、高等部3年生になったときに卒業後の進路を決定することとなります。つまり、児童生徒の成長した先にたどり着くのが、いわゆる「進路」なのだと思うのです。

高等部3年生16名は現場実習や随時実習を経験し、無事にそれぞれの卒業後の進路を決定することができました。この結果は、全員がこれまでの学習活動に真剣に取り組み、自分の可能性を広げてきた成果です。そして、生徒がしっかり学習に取り組めるよう各御家庭で毎日支えてくださったからこそその成果でもあります。改めて感謝申し上げます。

卒業生の皆さんはそれぞれの進路先で更に自分の可能性を広げ、地域の中での自分らしい生き方を確立してほしいと思います。

在校生の皆さんは4月からそれぞれ新しい学年や学部での生活を迎えます。慣れない環境に戸惑ったり、難しい課題に直面したりということもあるかもしれません。「ピンチはチャンス」とはよく言ったもので、苦しい場面こそ自分を成長させるチャンスです。私達は児童生徒個々の特性を見て、どのような支援をすれば課題を乗り越えられるかをしっかりと見極め、適切な指導・支援に努めます。一人ひとりの発達段階に合った適切な指導・支援ができるよう、学級はもちろん、学年や学部・分教室、そして学校全体で取り組んでまいりますので、今後とも御協力くださいますようお願い致します。

これから学部や学年が進んでいく中で、保護者の皆様がお子様の進路について不安や疑問を感じる場面もあろうかと思えます。将来のよりよい進路選択のために、その状況に応じて必要となる情報提供ができるよう努めてまいります。学校（進路部）として、御家庭との連携を密にした進路指導を実践してまいります。

お子様の更なる成長を目指し、これからもお互いに手を携えてまいりましょう。

企業との連携協議会

2月4日（火）本校体育館にて『第2回企業との連携協議会』（生徒と企業の実習に向けた相談会）を開催しました。企業にとっては、特別支援学校や生徒の理解促進、生徒にとっては、企業や仕事内容を知ることが目的として、毎年実施しています。

今年度は、花巻・北上・遠野地区の15社の企業の参加、一般就労を視野に入れている生徒が15分の面談を4回行いました。高等部1、2年生が対象で本校からは12名、盛岡峰南高等支援学校から12名、近隣の高校からも2名の生徒が参加しました。緊張しながらも、企業ブースを訪問して企業の説明を聞き、メモを取ったり、事前に用意した質問をしながら、15分の面談を行いました。参加した企業の方からは「積極的に質問して好感が持てた」「1年生、2年生の成長度合いが分かった」等の感想が寄せられました。生徒は「作業面だけでなく、態度面も大切なことが分かった」「いろいろな企業の話聞いて、就職を意識できるようになった」等学ぶことができたようです。今後は、2年生、3年生の現場実習で力を発揮できるよう作業学習や日々の学校生活で更に力を付けていってほしいと思います。



高等部1年生進路見学

2月7日（金）高等部1年の進路学習として花巻・北上市内の企業や事業所を訪問し、施設の方から説明を受けたり、働いている様子を見学したりしました。生徒は今までの進路学習の中で“何のために働くか”や“学校卒業後の進路先”などについて学んできました。そして今回の学習を通して、卒業後に自分が働く姿をイメージするなど、より進路についての意識を高めることができました。

